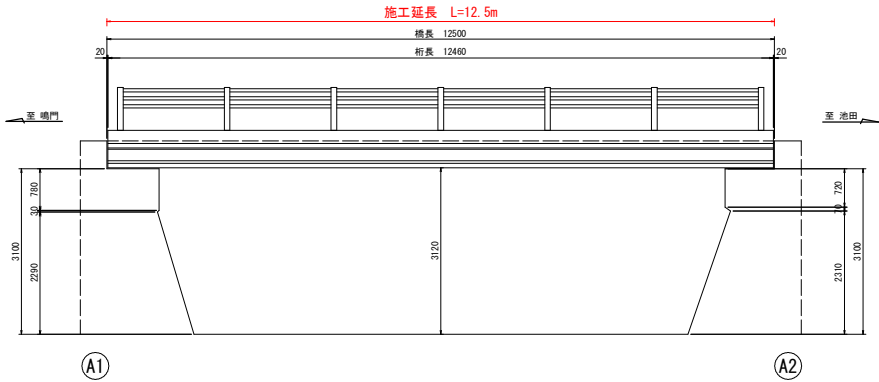
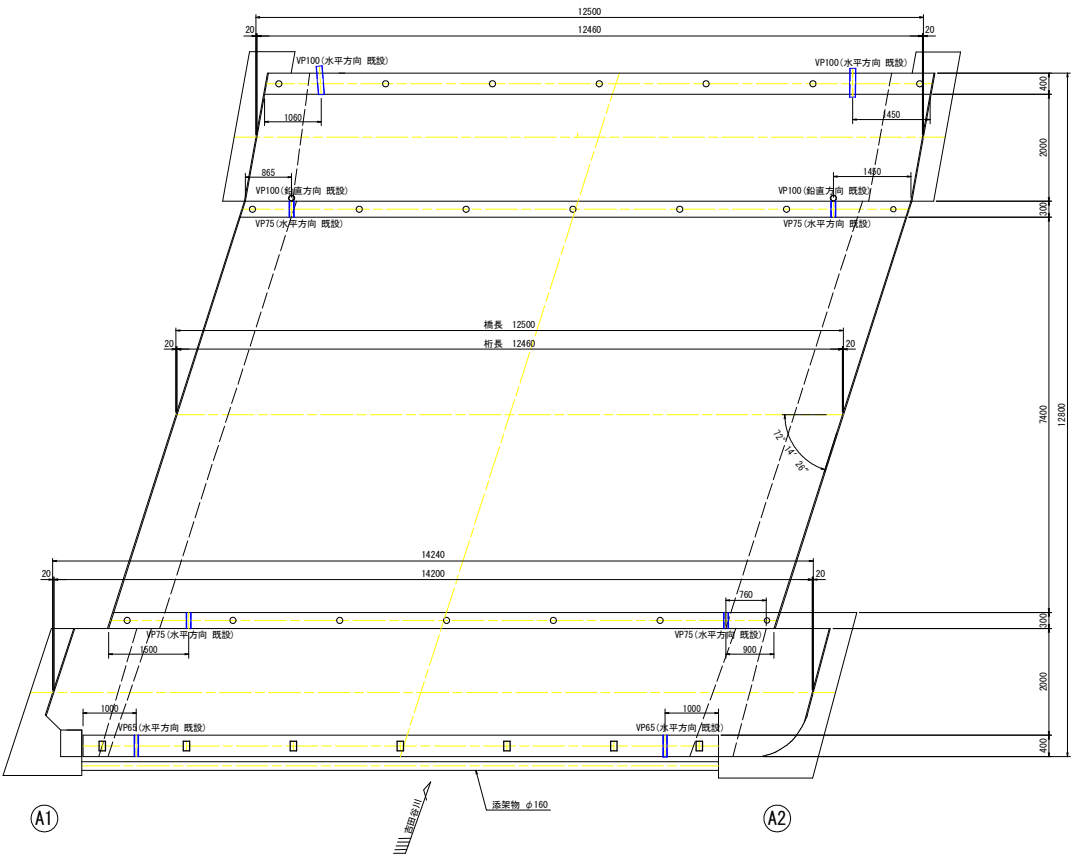


吉田谷橋 橋梁一般図

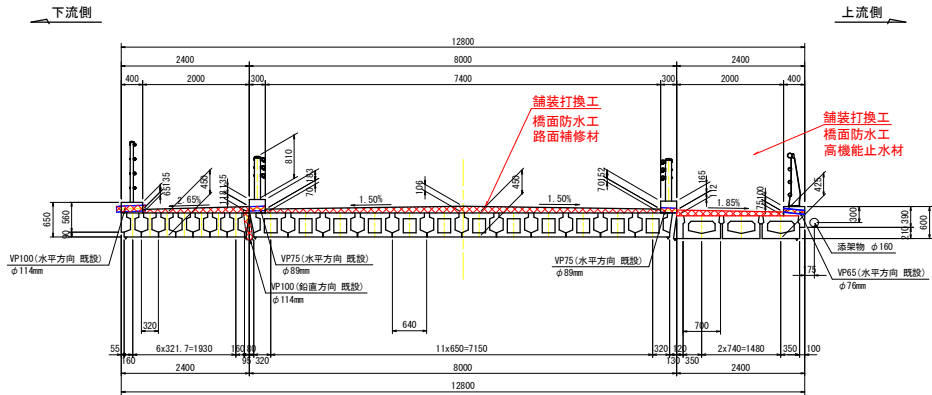
側面図 S=1:50



平面図 S=1:50



断面図 S=1:50



吉田谷橋 補修工事内容一覧

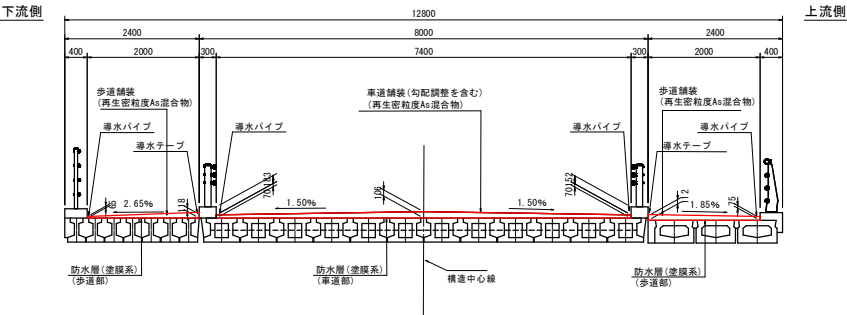
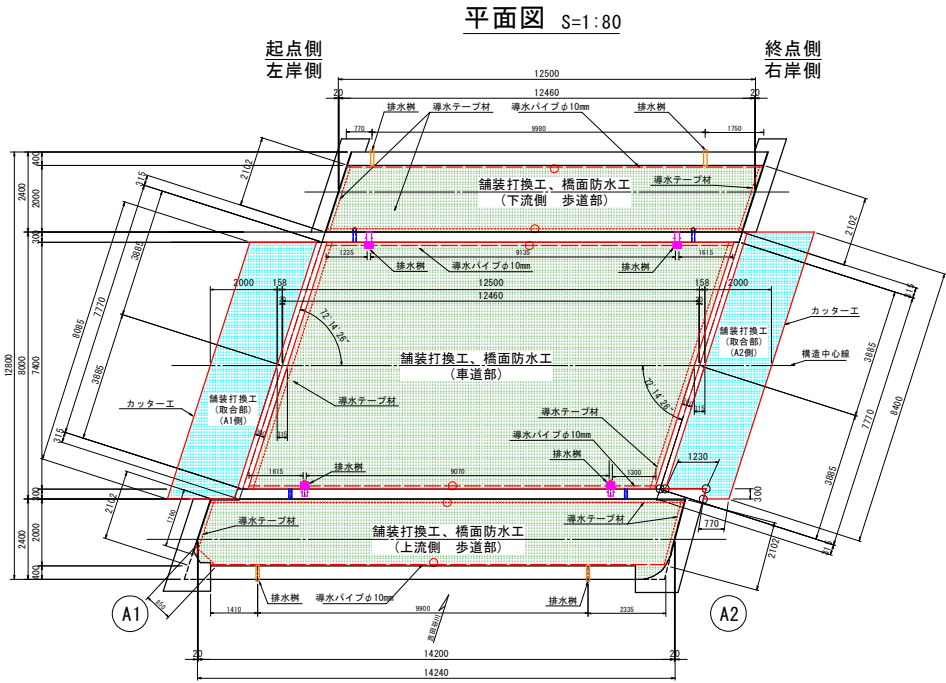
名 称	規 格	数 量	備 考
アスファルト舗装工	再生密粒度As混合物	25.00 m2	下流側 歩道部
	再生密粒度As混合物	90.17 m2	車道部
	再生密粒度As混合物	15.40 m2	取合舗装 (A1)
	再生密粒度As混合物	15.63 m2	取合舗装 (A2)
橋 面 防 水 工	再生密粒度As混合物	28.48 m2	上流側 歩道部
	再生密粒度As混合物	143.65 m2	下流側 歩道部
	塗膜系	90.17 m2	車道部
	塗膜系	28.48 m2	上流側 歩道部
伸縮接手工	路面補修材 (弾性舗装材)	16.80 m	車道部
	高機能止水材	10.10 m	歩道部

実施設計図面

工 事 名	R7馬士 鳴門池田線 (吉田谷橋) 奥・奥馬東京里 橋面補修工事		
路線名等	(主)鳴門池田線 (吉田谷橋)		
工事箇所	奥馬市奥馬町東京里		
図 面 名	橋梁補修一般図		
縮 尺	図示	図面番号	1 / 9
会 社 名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<奥馬>		

橋面防水工詳細図 舗装打換工詳細図

断面図 S=1:50 (橋軸直角方向)



- ※ 現況の舗装厚、横断勾配等は、上図の断面図のとおりと想定している。車道部、歩道部ともに、勾配および、舗装厚は現況合わせとする。
- ※ 施工の際は、現況の舗装厚等、現地計測を実施し確認のこと。
- ※ 舗装厚が著しく厚くなる場合は、舗装構成を「基層」+「表層」に分けて施工する等、適切に対応のこと。
- ※ 上流側 歩道部の端部付近の形状についてアスファルト撤去後の舗装とコンクリート境界部に合わせ、端部防水処理材・成型目地材を設置すること。
- ※ パラペット部と上部工の境界が不明な場合や、舗装厚が想定と異なる等、当図面の計画から変更となる場合は、監督員と協議を行い、適切な対応を講じること。

橋面防水工・アスファルト舗装工 数量表

名 称	規 格	算 式	数 量	備 考
アスファルト舗装工	再生密粒度As混合物 平均舗装厚 t=92mm	12,500 x 2,000	25.00 m ²	下流側 歩道部
	再生密粒度As混合物 平均舗装厚 t=88mm	(12,500 - 0.315) x 7,400	90.17 m ²	車道部
	再生密粒度As混合物 平均舗装厚 t=88mm	2,000 x (7,400 + 0,300)	15.40 m ²	取合舗装 (A1)
	再生密粒度As混合物 平均舗装厚 t=88mm	(2,000 x 8,000) - (1,230 x 0,300)	15.63 m ²	取合舗装 (A2)
橋 面 防 水 工	再生密粒度As混合物 平均舗装厚 t=94mm	14,240 x 2,000	28.48 m ²	上流側 歩道部
	塗膜系	アスファルト舗装と同量	25.00 m ²	下流側 歩道部
	塗膜系	アスファルト舗装と同量 (取合舗装除く)	90.17 m ²	車道部
	塗膜系	アスファルト舗装と同量	28.48 m ²	上流側 歩道部
成 型 目 地 材	成型目地材	(12,500 x 2) + (2,102 x 2)	29.20 m	下流側 歩道部
	成型目地材	(12,500 - 0.315) x 2	24.37 m	車道部
	成型目地材	(14,240 x 2) + (2,102 x 2)	32.68 m	上流側 歩道部
	端部防水処理材	成型目地材と同量	86.25 m	合計

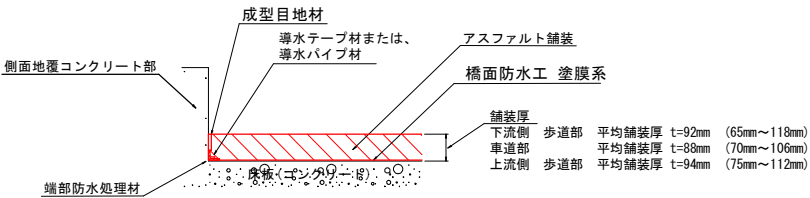
- 注)
- 成型目地材・端部防水処理材は、舗装とコンクリート構造物が接する部分の総延長を示す。
 - 上流側 歩道部の舗装面積は、端部の設置形状が一部不確定のため、(橋長) × (橋軸直角方向の幅員) として算出。
 - 上流側 歩道部の成型目地材・端部防水処理材は、端部の設置形状が一部不確定のため、(橋長) と (標準幅員) より算出。

アスファルト撤去工関連 数量表

名 称	規 格・寸 法	算 式	数 量	備 考
舗装版破砕工 (As 舗装) (路面切削機)	平均舗装厚 t=92mm	25.00 x 0.092	2.3 m ³	下流側 歩道部
	平均舗装厚 t=88mm	95.03 x 0.088	8.36 m ³	車道部
	平均舗装厚 t=88mm	(15.40 x 0.088) + (15.63 x 0.088)	2.73 m ³	取合舗装 (A1, A2)
	平均舗装厚 t=94mm	28.48 x 0.094	2.68 m ³	上流側 歩道部
搬運搬、処理 (As)			16.07 m ³	
舗装版切斷工	カッター工	車道部 (A1側) L=8.09	16.49 m	
	カッター工	車道部 (A2側) L=8.40		

※ 車道部の対象面積=(舗装打ち換え工面積+弾性舗装材施工面積)
=90.17+4.86=95.03[m²]

橋面防水工詳細図 S=1:5



導水パイプおよび導水テープ設置工 数量表

名 称	規 格・寸 法	算 式	数 量	備 考
導水テープ設置工 (排水促進用導水テープ)	導水テープ規格 厚さ: 3mm 幅: 30mm (長さ: 15m/1巻)	12,500 + (2,102 x 2)	16.70 m	下流側 歩道部
	導水テープ規格 厚さ: 3mm 幅: 30mm (長さ: 15m/1巻)	7,770 (A1側) + 7,770 (A2側)	15.54 m	車道部 (横断方向)
	導水テープ規格 厚さ: 3mm 幅: 30mm (長さ: 15m/1巻)	14,240 + 0.850 + 1,760 + 2,102	18.95 m	上流側 歩道部
	導水テープ規格 厚さ: 3mm 幅: 30mm (長さ: 15m/1巻)	0.770 + 9,980 + 1,750	12.50 m	下流側 歩道部
導水パイプ設置工 (排水促進用導水管)	導水パイプ規格 径: φ10mm (長さ: 25m/1巻)	1,235 + 9,135 + 1,615 + 1,615 + 9,070 + 1,300	23.97 m	車道部
	導水パイプ規格 径: φ10mm (長さ: 25m/1巻)	1,410 + 9,900 + 2,335	13.65 m	上流側 歩道部
	導水パイプ規格 径: φ10mm (長さ: 25m/1巻)			
	導水パイプ規格 径: φ10mm (長さ: 25m/1巻)			

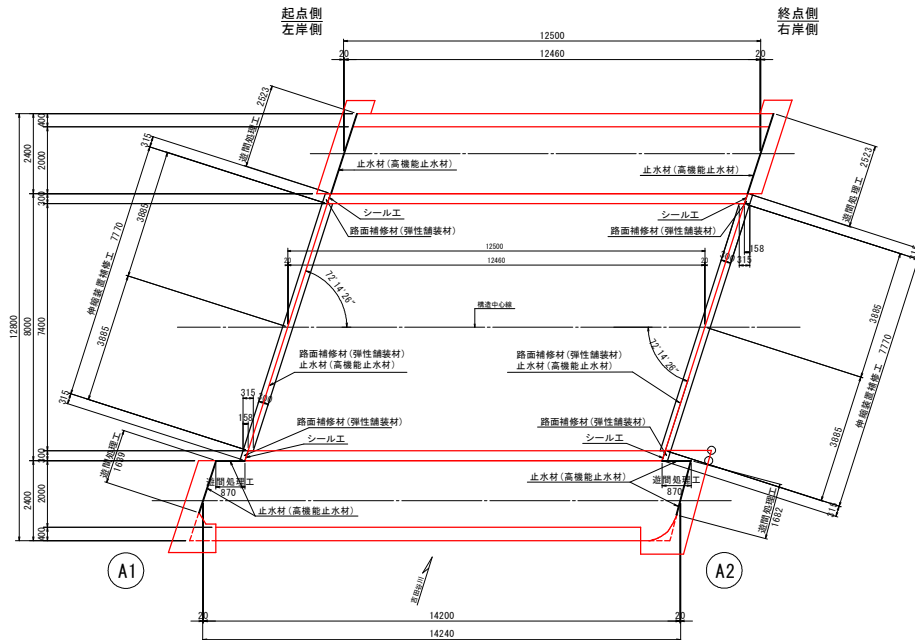
- ※ 導水パイプは、端部の片方もしくは両方を排水桟に接続する
- ※ 舗装厚が想定と異なる場合は、導水パイプの径について再検討を要する

実施設計図面

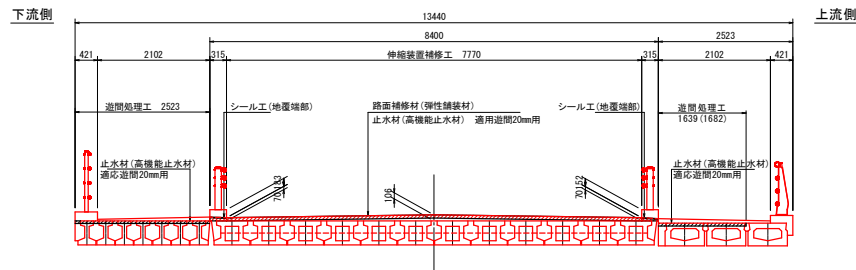
工 事 名	R7馬士 嶋門池田線 (吉田谷橋) 奥・奥馬東京重 橋面補修工事
路線名等	(主)嶋門池田線 (吉田谷橋)
工事箇所	奥馬市奥馬町東京重
図 面 名	橋面防水工 舗装打換工 詳細図
縮 尺	図 示 図面番号 2 / 9
会 社 名	
事業者名	徳島県西部総合振興局県土整備部<奥馬>

伸縮継手補修図

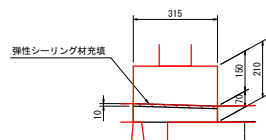
平面图 S=1:80



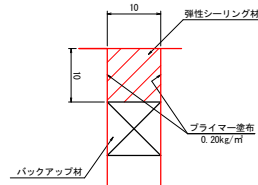
断面図 S=1:50



シール工詳細図 S=1:10

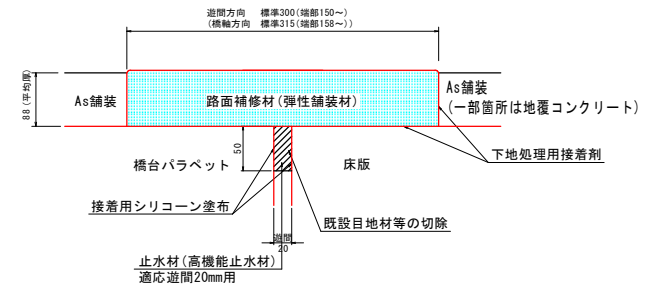


シール材充填図



伸縮継手補修工 断面図 S=1:3

(車道部)



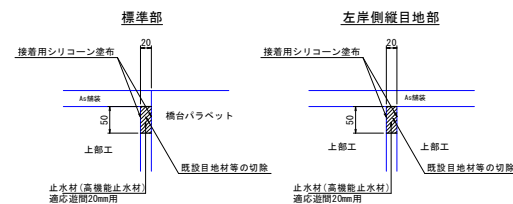
伸縮継手補修工(高機能止水材、弾性舗装材) 数量表 (車道部)

(1橋当たり)

名 称	細 目	単位	数量	内 訳
路面補修材(弾性舗装材)	施工延長	m	16.8	$0.315(A1) + 7.770(A1) + 0.315(A1) + 0.315(A2) + 7.770(A2) + 0.315(A2)$
	施工面積	m ²	4.86	$(A1) = 0.158 \times 0.3 + 0.315 \times 7.4 + 0.158 \times 0.3 = 2.43$ $(A2) = 0.158 \times 0.3 + 0.315 \times 7.4 + 0.158 \times 0.3 = 2.43$
	弾性舗装材数量	m ³	0.47	$4.86(m^2) \times 0.088(\text{補修材厚さt}) \times 1.1(\text{ロス率考慮})$
弾性シーリング材(地覆部)	シリコーン系	リットル	0.13	$0.315 \times 4 \times 0.010 \times 0.010 \times 1000$
止水材 (高機能止水材)	適応遊間20mm用 (想定規格)	m	16.8	$0.315(A1) + 7.770(A1) + 0.315(A1) + 0.315(A2) + 7.770(A2) + 0.315(A2)$
型枠工	弾性舗装材設置箇所の周囲	m ²	2.96	$L(A1) = 8.400 + 7.770 + 0.315 + 0.315 = 16.80$ $L(A2) = 7.770 + 8.400 + 0.315 + 0.315 = 16.80$ 合計周囲長 $L = 16.80 + 16.80 = 33.6[m]$ 合計周囲長 $\times$ 平均高さ88mm $= 33.6 \times 0.088 = 2.96[m^2]$

遊間処理工 S=1:5

(歩道部)



遊間処理工(高機能止水材)数量表 (歩道部)

(1橋当たり)

種 別	規 格	単位	数量	内 訳
止水材 (高機能止水材)	適応遊間20mm用 (想定規格)	m	5.06	(上流側歩道) 1.639 (A1) + 0.87 (A1) + 1.682 (A2) + 0.87 (A2)
			5.05	(下流側歩道) 2.523 (A1) + 2.523 (A2)

※弾性舗装材の設置幅・延長等の寸法は現地計測の上決定すること。

※舗装厚が当図面と異なる等、現地状況との差異が生じた場合は、監督員と協議を行って適切な対応を講じること。

※止水材設置のため、既設目地材等はコンクリートカッター等を用いて部分的に切除しておくこと。

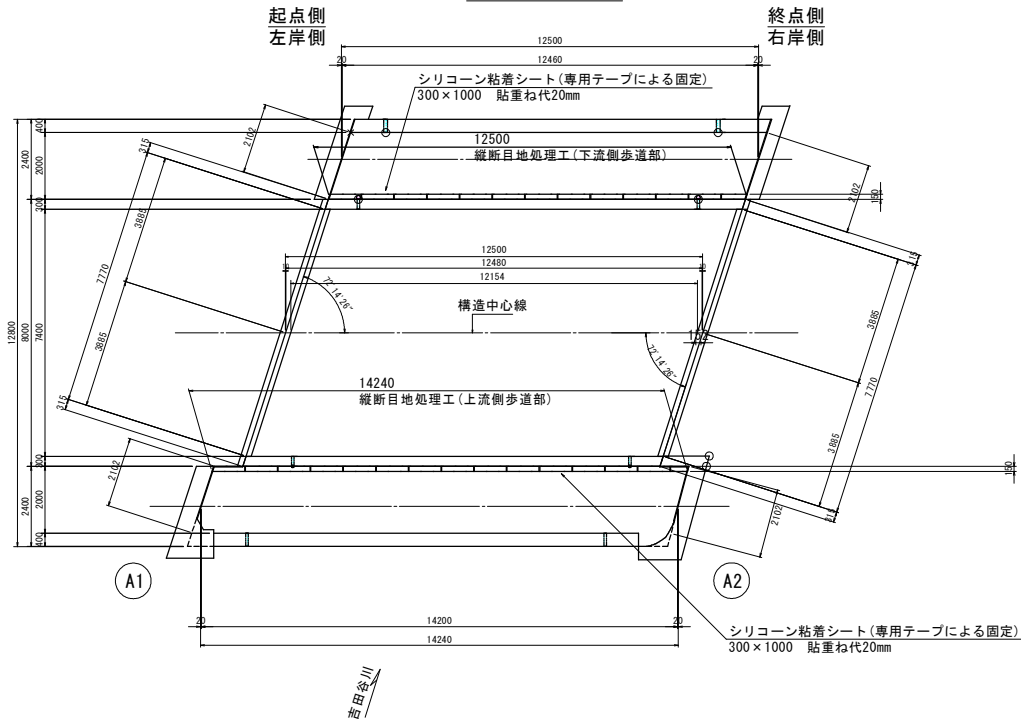
※止水材の規格選定
遊間幅の事前調査により、現況に適する止水材の規格を選定のこと。

実施設計図面

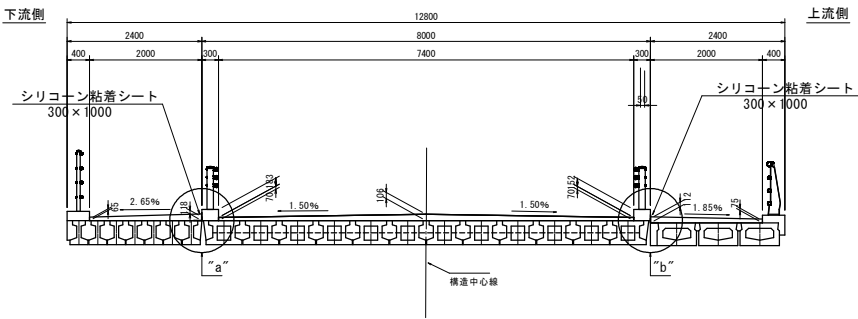
工 事 名	R 7 馬 主 嶋門池田線 (吉田谷橋) 美・美馬町東宗 橋面補修工事		
路線名等	(主)嶋門池田線 (吉田谷橋)		
工事箇所	美馬市美馬町東宗		
図 面 名	伸縮継手補修図		
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 9
会 社 名			
事業者名	徳島県西部総合振興局県土整備部<美馬>		

縦断目地処理工(歩道床板-車道側地覆間)

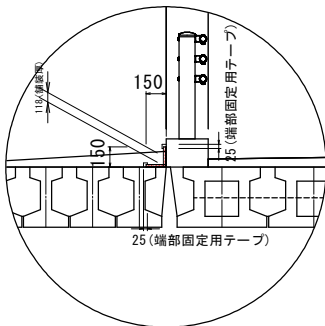
平面図 S=1:80



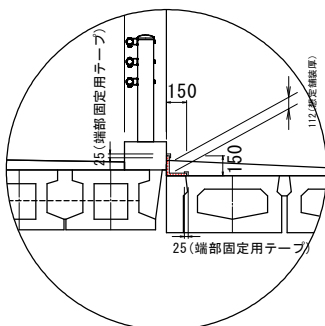
断面図 S=1:50



“a”部拡大図 S=1:20



“b”部拡大図 S=1:20



縦断目地処理工 材料数量表

名称	規格	算式	数量	備考
シリコン粘着シート	300mm × 1000mm	施工延長L=14240	15枚	上流側 歩道部
		施工延長L=12500	13枚	下流側 歩道部
端部シール用シリコン接着テープ	25mm × 3000mm	施工延長L=(14240 × 2) + (300 × 16) =33280	12巻	上流側 歩道部
		施工延長L=(12500 × 2) + (300 × 14) =29200	10巻	下流側 歩道部

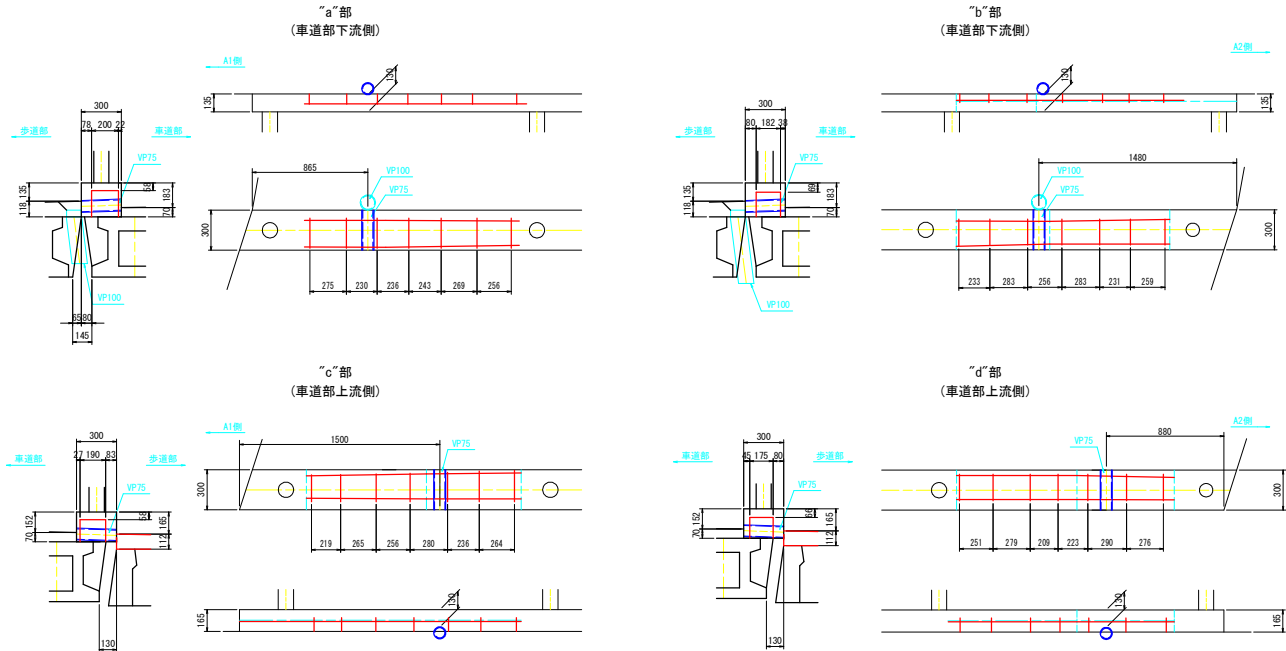
- ※ 施工の際は、現況の遊間幅等現地計測を実施し確認のこと。
- ※ 舗装の試掘により、想定以上の遊間幅が確認された場合は、シリコン粘着シートの規格の再検討および施工調整等について、監督員と協議を行い適切な対応を講じること。
- ※ シリコン粘着シートは、地覆と床板にL型に貼り付ける。シリコン粘着シートの端部は、専用テープにより固定する。
- ※ シリコン粘着シートの貼り重ね幅は20mmを基本とする。ただし、遊間幅が想定以上の場合など、現場状況に合わせて張り重ね幅の調整を行う。
- ※ 排水パイプなどの排水設備がある場合は、シリコン粘着シートの形状加工、孔明等により現場の形状に合わせ設置する。
- ※ 素地調整は、2種ケレンを基本とする。

実施設計図面

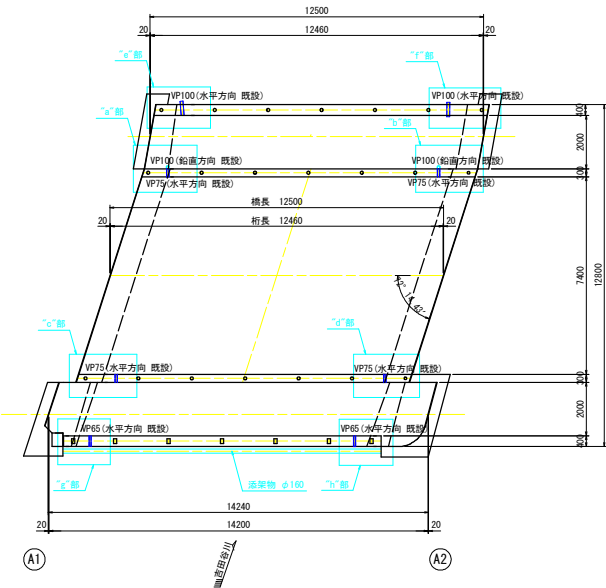
工 事 名	R7馬士 鳴門池田線(吉田谷橋) 美・美馬東部車 橋面補修工事		
路線名等	(主)鳴門池田線(吉田谷橋)		
工事箇所	美馬市美馬町東部車		
図 面 名	縦断目地処理工(歩道床板-車道側地覆間)		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 9
会 社 名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<美馬>		

吉田谷橋 排水施設詳細図(現況)
(地覆部の鉄筋探査結果を反映)

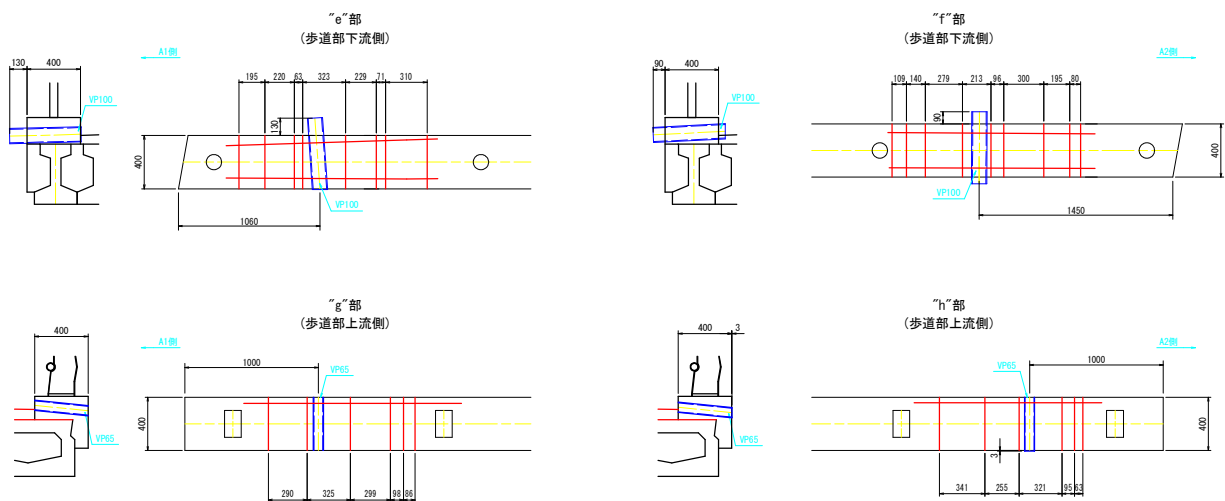
車道部地覆 S=1:20



平面図 S=1:100



歩道部地覆 S=1:20



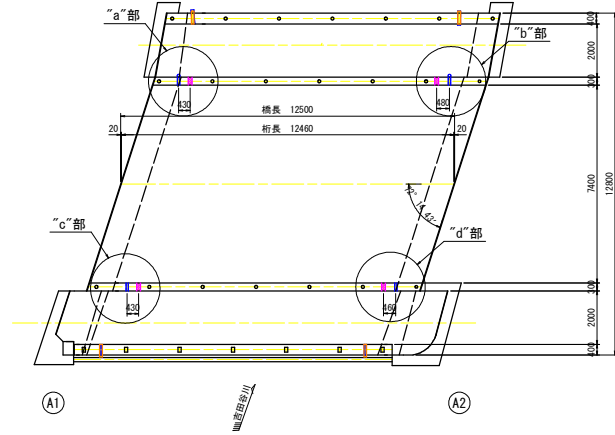
実施設計図面

工事名	R7馬士 鳴門池田線(吉田谷橋) 奥・奥馬東家屋 橋面補修工事		
路線名等	(主)鳴門池田線(吉田谷橋)		
工事箇所	奥馬市奥馬町東家屋		
図面名			
縮尺	図示	図面番号	5 / 9
会社名			
事業者名	徳島県西部総合振民局県土整備部<奥馬>		

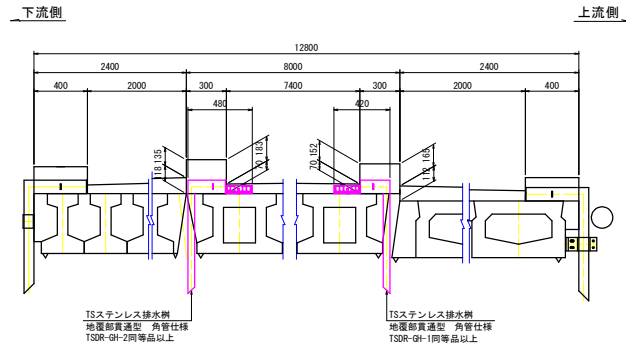
吉田谷橋 補修図(その1)

車道部地覆 地覆補修工

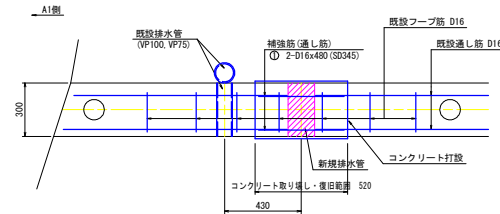
マーク図 S=1:100



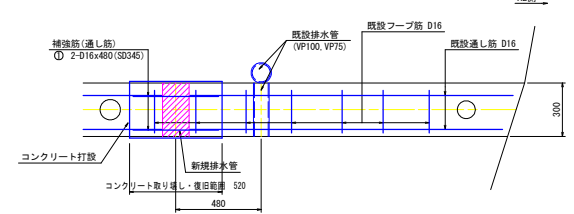
断面図 S=1:20



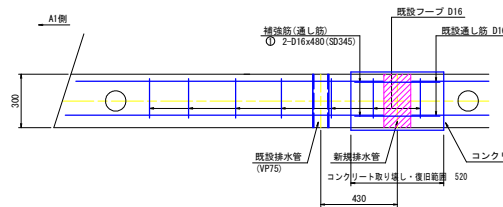
“a”部
(車道部下流側) S=1:15



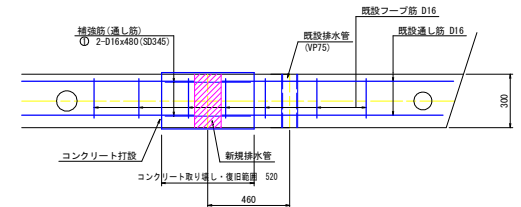
“b”部
(車道部下流側) S=1:15



“c”部
(車道部上流側) S=1:15

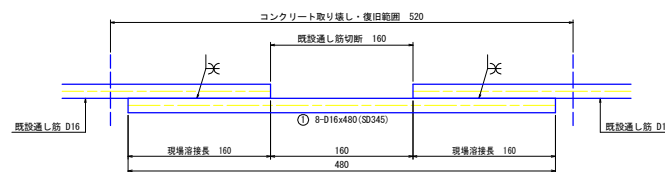


“d”部
(車道部上流側) S=1:15



鉄筋加工図 S=1:3

通し筋

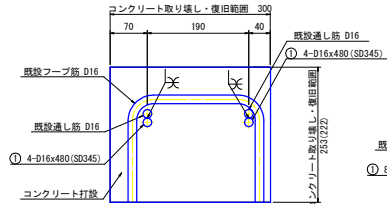


鉄筋表

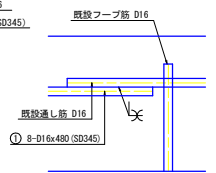
記号	呼び径	長さ (mm)	単位質量 (kg/m)	1本質量 (kg)	本数	質量 (kg)	適用
①	D16	480	1.560	0.745	8	6	通し筋
SD345							6 kg

補強筋詳細図 S=1:5

地覆断面



地覆側面



注記

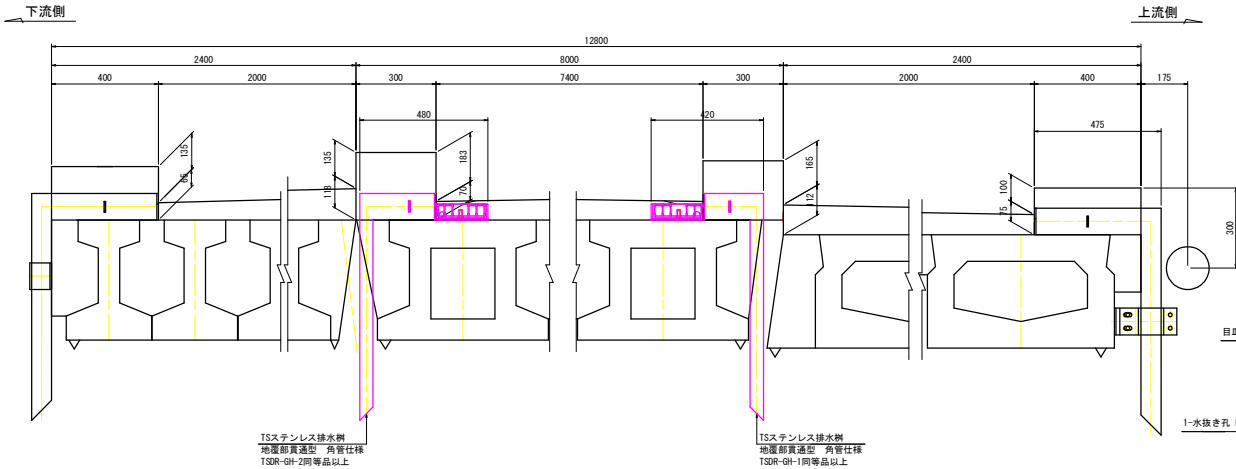
- 配筋状況は鉄筋探査データを基に作成した。
- 施工の際は、必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。
- 鉄筋径については推定であるため、施工に際しては試掘調査を行い確認すること。
- 添え筋箇所は、調査時の外観より決定しており、必ず現地にて補修箇所及び数量を確認の上、施工を行うこと。
- 添え筋は、重ね継手長を確保すること。
- 重ね継手位置は、現地計測の上決定すること。
- 復旧箇所の打設コンクリートは、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ とする。

実施設計図面

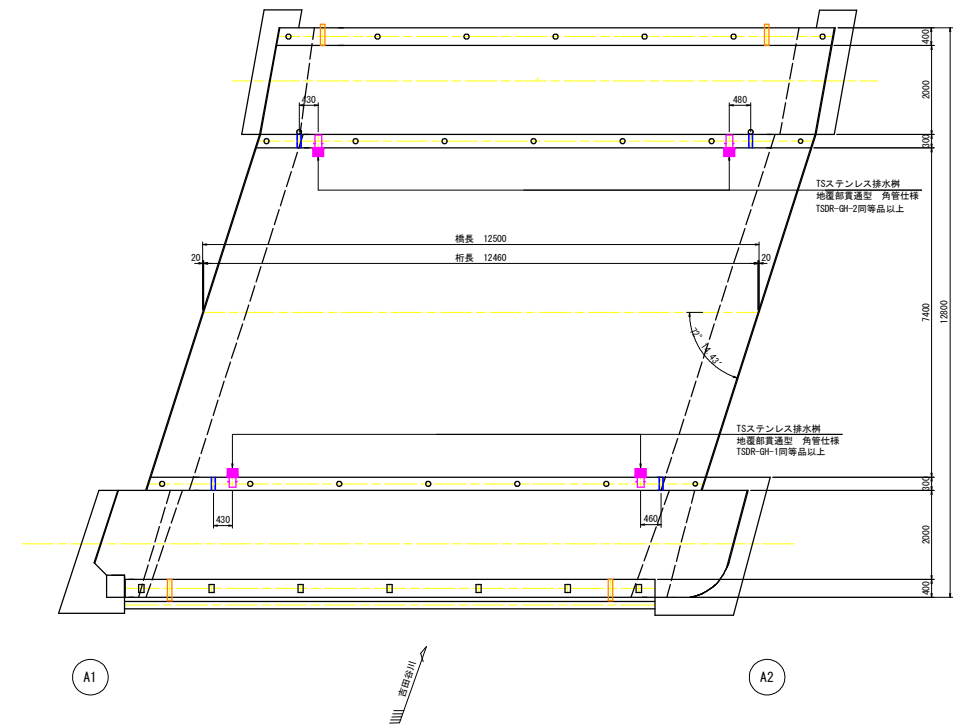
工事名	R7馬士 鳴門池田線(吉田谷橋) 奥・奥馬東家重 橋面補修工事		
路線名等	(主)鳴門池田線(吉田谷橋)		
工事箇所	奥馬市奥馬町東家重		
図面名	吉田谷橋 補修図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	6 / 9
会社名			
事業者名	徳島県西部総合振興局農土整備部<奥馬>		

吉田谷橋 補修図(その2)
車道部地覆 排水管詳細図

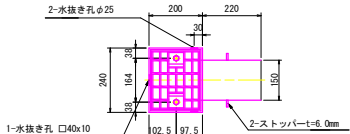
断面図 S=1:10



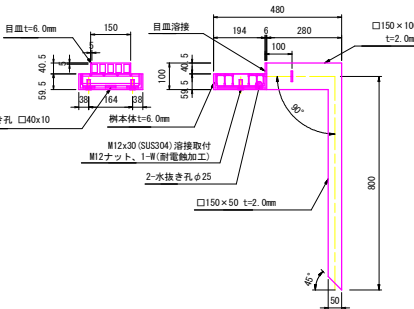
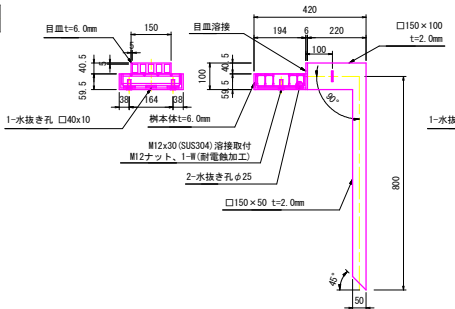
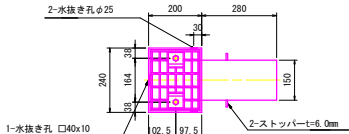
平面図 S=1:60



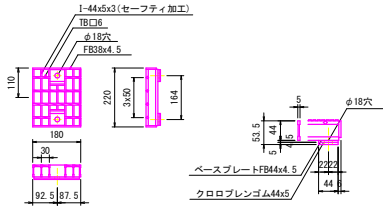
TSステンレス排水柵詳細図
地覆部貫通型 角管仕様
TSR-GH-1同等品以上
製作数=2



TSステンレス排水柵詳細図
地覆部貫通型 角管仕様
TSR-GH-2同等品以上
製作数=2



グレーチング詳細図(共通)
SS400 溶融亜鉛メッキ
(JIS H8641 HDZT63同等品以上)



- 注記
- 特記なき材質はすべてSUS304とする。
 - 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
 - t=2.0mm以上のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
 - 現地調査にて寸法確定後製作する。

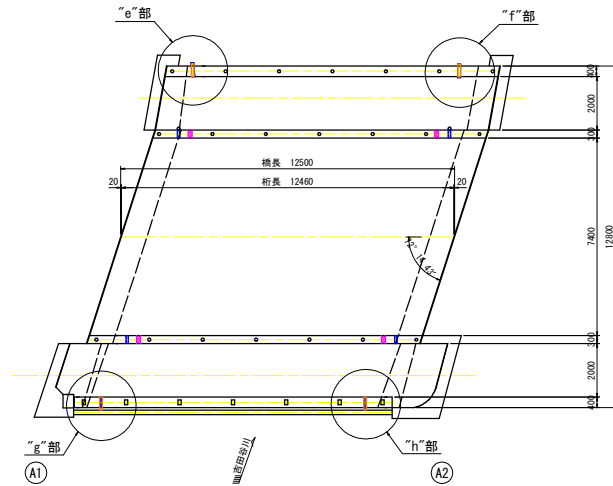
実施設計図面

工 事 名	R7馬士 鳴門池田線 (吉田谷橋) 奥・奥馬東家重 橋面補修工事
路線名等	(主)鳴門池田線 (吉田谷橋)
工事箇所	奥馬市奥馬町東家重
図 面 名	吉田谷橋 補修図(その2)
縮 尺	図示 図面番号 7 / 9
会 社 名	
事業者名	徳島県西部総合振興局農土整備部<奥馬>

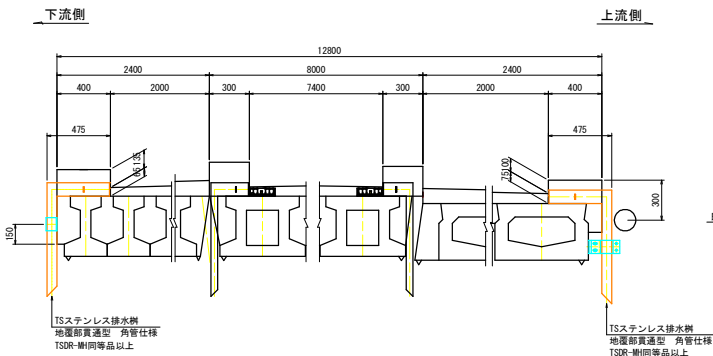
吉田谷橋 補修図(その3)

歩道部排水管撤去・地覆補修工

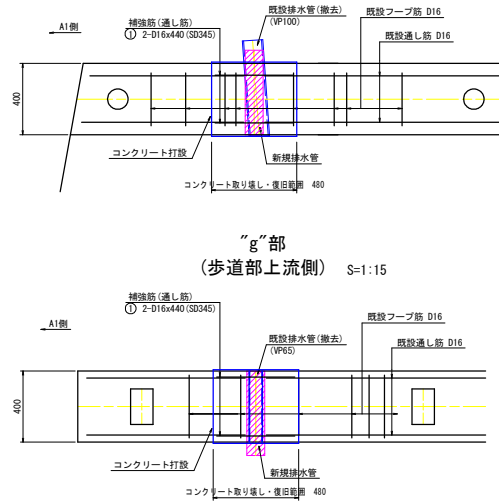
マーク図 S=1:100



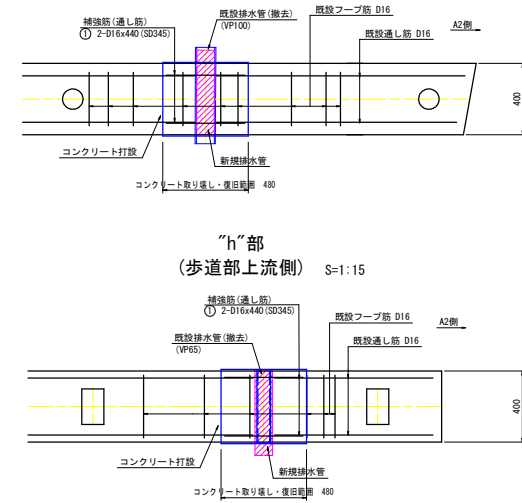
断面図 S=1:20



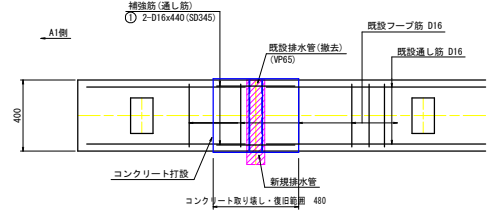
"e"部
(歩道部下流側) S=1:15



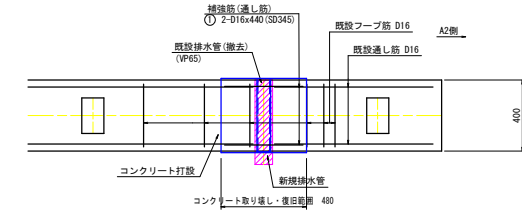
"f"部
(歩道部下流側) S=1:15



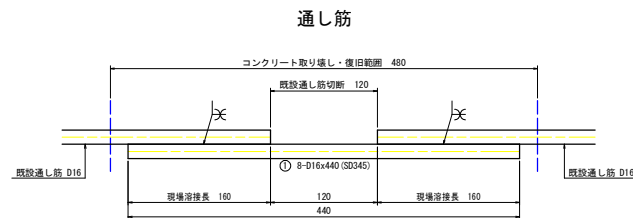
"g"部
(歩道部上流側) S=1:15



"h"部
(歩道部上流側) S=1:15



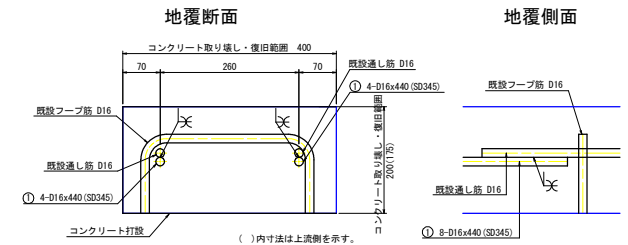
鉄筋加工図 S=1:3



鉄筋表

記号	呼び径	長さ(mm)	単位質量(kg/m)	必要質量(kg)	本数	質量(kg)	適用
①	D16	440	1.560	0.686	8	5	通し筋
SD345							D16 5 kg

補強筋詳細図 S=1:5



注記

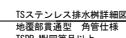
- 配筋状況は鉄筋探索データを基に作成した。
- 施工の際は、必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。
- 鉄筋径については推定であるため、施工に際しては試掘調査を行い確認すること。
- 添え筋箇所は、調査時の外観より決定しており、必ず現地にて補修箇所及び数量を確認の上、施工を行うこと。
- 添え筋は、重ね継手長を確保すること。
- 重ね継手位置は、現地計測の上決定すること。
- 復旧箇所の打設コンクリートは、 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ とする。

実施設計図面

工 事 名	R7馬士 鳴門池田線(吉田谷橋) 奥・奥馬東京重 橋面補修工事		
路線名等	(主)鳴門池田線(吉田谷橋)		
工事箇所	奥馬市奥馬町東京重		
図 面 名	吉田谷橋 補修図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	8 / 9
会 社 名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<奥馬>		

歩道部排水管詳細図

上流側



S=1:10



1-PL 100x6x391
2-アンカーボルトM12x100
1-EPDM 100x3x250

4-φ14孔(バンド側)

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|------|-------|
| 工 事 名 | R7馬土 鳴門田池緑 (吉田谷緑)
美・美馬東京室 橋梁補修工事 | | |
| 路線名等 | (主)鳴門田池緑 (吉田谷緑) | | |
| 工事箇所 | 美馬市美馬町東京室 | | |
| 図 面 名 | 吉田谷緑 補修図(その4) | | |
| 縮 尺 | 図示 | 図面番号 | 9 / 9 |
| 会 社 名 | | | |
| 事業者名 | 徳島県西部総合県民局土塁整備課<美馬> | | |